

## 全国学力・学習状況調査等の結果より

校長 相川 保 敏



6年生が4月下旬に参加した本年度の全国学力・学習状況調査の結果が分かりましたので、概要を報告させていただきます。本年度

は国語、算数、そして3年ごとに実施される理科を加えた3教科で実施されました。

国語では「言葉の特徴や使い方」「我が国の言語文化」「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」、算数では「数と計算」「図形」「変化と関係」「データの活用」、理科では「エネルギー」「粒子」「生命」「地球」の全ての項目において、全国平均を上回っており、はっきりとした弱点は見取れない結果となっていました。総合的に見ても、国語12.2ポイント、算数6.7ポイント、理科4.6ポイント、全国の平均正答率よりも高い成績となっています。また単純には比較できませんが、本校の昨年度結果と比べると、国語+4.1、算数±0、理科+2.2(前回平成30年度との比較)、高くなっています。コロナ禍でも学習に励んだ子どもたちの頑張りとそれを支えた教職員の取り組みがこうした結果を生んだものと考えます。

また、生活習慣や意識を見るための質問紙調査でも、例年の傾向通り、多くの項目で全国平均を上回るものとなっていました。この中から、これからの時代に必要とされる3つのコンピテンシーに結びつく主な項目の結果を紹介します。(数値は「当てはまる」と回答した割合の全国平均との差を示しています。)

### 自ら課題を見つけ、解決に向けて行動できる力

- ・5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか + 8.6
- ・自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか + 11.2
- ・総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習に取り組んでいますか

+ 20.9

### 社会・世界に関わり、よりよい人生を送る力

- ・自分にはよいところがあると思いますか + 5.4
- ・将来の夢や目標を持っていますか + 9.9
- ・人が困っているときは、進んで助けていますか + 22.7
- ・自分とは違う意見について考えるのは楽しいですか + 9.9

### よりよい社会・世界を形成する力

- ・あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか + 30.2
- ・学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分がすべきことを決めて取り組んでいますか + 8.2
- ・地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか + 8.0

これらの結果から、これからの時代に必要となるコンピテンシーの基礎が本校の子どもたちに育成されているのではないかと考えています。

また、これとは違う調査ですが、毎年行っているHyper-QU(学級満足度調査)も、全学年の学級に対する満足度が、全国平均に比べて+23.0ポイントと大幅に高い結果となっています。また、「友達関係」「学習意欲」「学級の雰囲気」の全ての項目で、全国平均より高い数値となっており、親和的な学級集団の中で安心して学ぶことができていることが分かります。

さて、10月の月目標は、「協力のしかたを考えよう」です。協力のしかたにも様々ありますが、迎合や依存による協力ではなく、しっかりと「自分の考え」をもった上で、他の考えを理解して協力できるとよいと思います。前述のように、本校の子どもたちは、こうしたことを考える力や実行していく力を有しており、さらには学級集団としての環境も整っているといえます。協力の輪が、学級から学年、学校、地域社会、さらには世界へと広がっていくこと期待しています。